



第133号

Nirasaki city council

韮崎市議会だより

発行：平成19年8月25日

発行所 山梨県韮崎市議会 〒407-8501 山梨県韮崎市水神一丁目3番1号TEL.0551-22-1111(代)
発行人 韮崎市議会議長 浅川 昇 編集 韮崎市議会だより編集委員会 印刷 (有)タクト



議員研修「政治倫理条例について」(茨城県つくば市)

『韮崎市議会議員政治倫理規程』を制定しました。平成19年6月14日公布

【制定までの経過】

今任期中に現職市議5名が辞職するという事態になり、政治倫理に対する再認識の機運が高まる。

平成19年2月23日

- ・第1回臨時会において、「政治倫理に関する調査特別委員会(委員8名)」の設置が決定。
- ・同日、第1回委員会開催
委員長 清水 一議員
副委員長 石井 錦一議員

5回の委員会開催

先進地視察研修
(山梨市・つくば市等)

平成19年6月25日

第2回定例会において、清水委員長が調査特別委員会の報告を行い、委員会を閉鎖。

市議会議員自らがその使命をさらに自覚し、市民の厳粛な信託に応えるべく、資質の向上はもちろんのこと、信頼される政治の実現を目指すため政治倫理規程を制定しました。

【規程の概要】

議員の責務

- ・政治資金規正法、公職選挙法などの法令の遵守。
- ・不正の疑惑をもたれる恐れのある行為の禁止。

地位利用の禁止事項

- ・市が行う公共工事の請負契約などで、特定の個人企業の推薦、紹介などの口利きの禁止。
- ・市職員の採用、昇格、異動への有利な取り計らいの禁止。

市の工事等の契約に関する遵守事項

- ・議員、議員の配偶者などが役員をしている企業などの、市が行う工事の請負契約の相手方となることの辞退。

兼職に関する遵守事項

- ・議会での議案審議において、除斥が予見できる職への就任を避ける。
- ・市から補助金を受けている団体などの代表者や役員に就任することの自粛。

(規程全文は11頁に掲載)

第2回定例会

平成19年6月

条例・予算等を審議

平成十九年第二回葦崎市議会定例会は、六月十一日に招集され、会期を六月二十五日までの十五日間と定め、審議を行いました。

開会日には、諸報告のあと横内市長の所信表明が行われ、主要事業と今定例会に提出される各議案の概要説明が行われました。

また、閉会日には、清水一議員（在職十五年）に山梨県市議会議長会、全国市議会議長会からの表彰状が、望月正澄議員（前副議長）に山梨県市議会議長会からの感謝状が、それぞれ浅川議長より伝達されました。

今議会で審議された案件は、報告案件九件、条例案件六件、予算案件一件、契約案件一件、人事案件七件で、いずれも原案どおり可決及び承認・同意されました。

会期日程表（会期15日間）

6月

- 11 [月] 本会議（開会、諸報告、市長所信表明）
- 12 [火] 議案調査
- 13 [水] 議案調査
- 14 [木] 議案調査
- 15 [金] 議案調査
- 16 [土] 休 会
- 17 [日] 休 会
- 18 [月] 本会議（一般質問）
- 19 [火] 休 会
- 20 [水] 本会議（一般質問）
- 21 [木] 本会議（議案審議・各常任委員会）
- 22 [金] 休 会
- 23 [土] 休 会
- 24 [日] 休 会
- 25 [月] 本会議（議案審議、委員会報告、閉会）

請願書提出期限

6月11日（開会日当日）午後5時

一般質問通告書提出期限 6月12日正午

主な議案の内容

条例

葦崎市長の給与の減額に関する条例

道路交通法違反を起こした自らの責任を明確にするため、市長の給与を二ヶ月間減額する改正を行いました。

葦崎市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律の一部改正に伴い、選挙長等の報酬を改正しました。

葦崎市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例

非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令の一部が改正されたことに伴い、扶養親族についての補償基礎額を改正しました。

葦崎市情報公開条例の一部を改正する条例

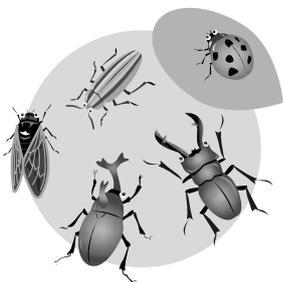
情報公開手続きの簡素化及び利便性向上を図るための改正を行いました。

葦崎市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

被保険者の高齢化の進展及び医療の高度化に伴う医療給付費の増大に鑑み、保険税率の見直しを図るとともに、保険税減額割合の拡充を図る改正を行いました。

葦崎市立公園条例の一部を改正する条例

山梨県砂防公園の完成による管理移管に伴い、呼称を定め市立公園として管理するための改正を行いました。



報告

専決事項については、三月議会後、地方税法の改正に伴う市税条例の一部改正等、また予算についても補正の必要が生じたため、専決処分により対応した旨の報告があり、承認されました。

【 蕪崎市税条例の一部改正】

地方税法の一部改正に伴い、市税条例の市民税・固定資産税・都市計画税に關しての所要の改正が、賛成多数で承認されました。

【 蕪崎市国民健康保険税条例の一部改正】

地方税法の一部改正に伴い、限度額に關しての所要の改正が賛成多数で承認されました。

【 平成十八年度蕪崎市一般会計補正予算（第五号）】

地方交付税等の決定により、歳入歳出それぞれ一億四千八百九十万八千円が追加補正され、補正後の予算額は百三十億一千三百三十九万九千円となりました。

平成十八年度蕪崎市一般会計予算繰越明許費に係る歳出予算繰越額の報告について
〔一〕内、繰越額

情報システム管理事業

〔一千八百八千円〕

国民健康保険特別会計繰出金

〔一千七百十三万五千円〕

介護保険特別会計繰出金

〔百七十二万三千円〕

県営畑地帯総合土地改良事業

〔四百万円〕

県営広域農道整備事業

（茅ヶ岳東部地区）

〔三百五十四万四千円〕

市営若尾団地建設事業

〔四百八十五万五千円〕

まちづくり交付金防災施設整備事業

〔百五万五千円〕

平成十八年度蕪崎市一般会計歳出予算に係る事故繰越額の報告について

情報システム管理事業

〔四十八万五千円〕

小土地改良事業

〔一千五百五十二万四千五百円〕

下水道運営費

〔一千四百七十七万五千円〕

災害対策事業

〔五百二十万五千円〕

平成十八年度蕪崎市国民健康保険特別会計予算繰越明許費に係る歳出予算繰越額の報告について

国民健康保険運営費

〔二千九百六十三万五千円〕

平成十八年度蕪崎市介護保険特別会計予算繰越明許費に係る歳出予算繰越額の報告について

介護保険運営費

〔二百六十二万五千円〕

平成十八年度蕪崎市下水道事業特別会計歳出予算に係る事故繰越額の報告について

公共下水道整備事業

〔二千四百七十七万五千円〕

平成十八年度蕪崎市水道事業会計歳出予算に係る建設改良費の繰越額の報告について

国道二十号線送水管横断敷設工事

〔二千八百七十七万五千円〕

予算

平成十九年度補正予算については、必要な経費について審議し、原案のとおり補正すべきものと決しました。

【 平成十九年度蕪崎市一般会計補正予算（第一号）】

歳入歳出予算それぞれ七千二百七十九万九千円を補正し、現計予算額は、百二十二億四千六百七十九万九千円となりました。

主な内容

行政アドバイザー設置経費

百八十三万九千円

地域保健事業（妊婦健診）

七百六十四万五千円

市営若尾住宅建設事業

三千八百十四万一千円

特別支援教育振興事業

（支援スタッフ雇用）

五百四十七万六千円

地域に根ざした学校給食推進事業（西中、県指定校）

百一十一万一千円

契約

議会の議決を経たため、次の備品購入契約が成立しました。（市条例の規定により、議会の議決が必要となる契約は、二千万円以上の購入契約です。）

蕪崎西中学校給食室備品購入

契約金額

四千三百五十二万二千五百円

契約先（株）日新厨房企画



人事

『葦崎市公平委員会委員の選任』

葦崎市公平委員会委員輿水豊氏の辞任に伴い、後任者の選任について、市長より議会の同意を求める提案がされ、次の方を選任することに同意しました。

金山 宏（中田町中條）

『保護財産区管理委员会委员の選任』

平成十九年七月七日をもって任期満了となる恩賜林保護財産区管理委员会委员の選任について、議会として同意しました。

『第一鈴嵐恩賜林』

矢崎 一郎（神山町）
 功刀 正彦（"）
 工藤 良一（"）
 功刀 修（"）
 平賀 勝男（若宮三）
 仲田 林貞（清哲町）

『第二鈴嵐恩賜林』

功刀 紀幸（神山町）
 内藤 充（"）
 柳和 男（中央町）
 矢崎 好房（旭町）
 小林 豊彦（大草町）
 加藤 正次（龍岡町）
 清水 盛正（清哲町）

『第一御座石前山恩賜林』

藤嶋 英毅（清哲町）
 伊藤 卓朗（"）
 新藤 道格（中田町）
 口野 正昭（"）
 細田 正昭（"）
 仲田 弘忠（"）
 深澤 篤彦（円野町）

『旭山恩賜林』

小野 勇（旭町）
 山本 榮一（"）
 鈴木 好夫（"）
 志村 好文（"）
 久保田 忠（"）
 山本 茂雄（"）
 沼田 道夫（"）

『八森恩賜林』

藤嶋 英毅（清哲町）
 伊藤 卓朗（"）
 新藤 道格（中田町）
 口野 正昭（"）
 細田 正昭（"）
 仲田 弘忠（"）

『戸沢日影半腹裾恩賜林』

赤澤 茂和（円野町）
 草間 照顯（"）
 伊藤 辰彦（"）
 堀内 健光（"）
 細田 徳宏（"）
 安井 隆三（"）
 山本 義武（"）

議会を傍聴してみませんか！

年四回（三・六・九・十二月）開催される定例会は、どなたでも傍聴できますので、ぜひお出かけください。

議会の傍聴は、本会議の当日に、所定の受付簿に住所・氏名を記入するだけでできます。（ただし、委員会の傍聴は、事前の申出が必要です。）

日程などについては、定例会前の議会運営委員会で決定しますので、決まり次第議会ホームページなどでご案内します。

詳しいことについては

議会事務局 直通

電話 二三一―二二二―



平成十九年第二回定例会の一般質問は、六月十八・二十日の両日に行われ、野口紘明（新風クラブ）、石井錦一（新世クラブ）、嶋津鈴子（市清クラブ）、神田明弘、小林恵理子（日本共産党葦崎市議団）、清水一（四期クラブ）の六議員が登壇し、市政全般にわたり市当局の考えをただしました。主な質問及び執行部の答弁の要旨は五ページ以降のとおりです。

野口 紘明 議員
〔新風クラブ〕



(主な質問と答弁)

「企業誘致の推進」について
質問 優良企業誘致は、地方自治体の税源確保を図ると同時に人口増の促進を行い、商店街の活性化や雇用機会の拡大につながり、本市の地域経済の発展に大きく寄与するものと確信しております。

今後、本市はどのような方針で企業誘致を推進していくのか、また受け入れ側としても土地利用等の立地の整備について、改めることが緊要と考えられますが、市長のご見をお伺いします。

答弁 横内市長

「都市計画」について
質問 本市の産業集積とその誘致活動のため、都市計画、農業振興地域整備計画等との整合を図る中で、工場適地としての区域及び業種を指定していく企業立地促進基本計画の策定に努めてまいりたいと考えております。

(再質問)

現在、国の経済も安定してきており、企業設備投資も活発になってきております。この時期だからこそ、もっと積極的に企業誘致に働くべきだと考えますが、お考えをお伺いします。

答弁 高添商工観光課長

本年四月の機構改革により、商工観光課を設置し、商工担当も一名増員しましたので、県との連携を密にし、優良な企業誘致に努めてまいります。

質問事項

- 行財政運営について
- 財政運営状況と今後の見込みについて
- 行政改革の推進について
- 都市計画について
- 都市計画区域及び用途地域の見直しについて
- 土地利用(工業地)計画について
- 企業誘致の推進について
- 市立病院の運営について
- 新医師臨床研修制に伴う医師確保について
- 患者数の推移について
- 道路整備について
- 国道20号線バイパス化の推進について
- 甘利小学校通学路、危険箇所の整備について
- 御勅使川に架かる堀切橋の架け替えについて
- 市営若尾団地建設について
- 資源ごみの分別収集について
- 家庭での児童虐待の実態について
- 行政アドバイザー設置について
- 市職員の意識改革について
- 西中学校改築工事に伴う生徒の校外活動費について

「資源ごみと分別収集」について
質問 資源ごみの売払金額は、どのくらいあるのか、また、分別収集増進のために、収集地域にその売払金を還元したかどうかと考えるが、当局の見解を伺います。

答弁 横内市長

平成十八年度の売払金額は、四百二十九万円です。



資源ごみ分別収集の様子

地区への還元については、分別収集をさらに徹底し、減量化が推進された後、取扱い方について地域のまちづくりに関連する形で検討を進めてまいります。

(関連質問)

『藤嶋英毅議員』

- ・都市計画について
- ・企業誘致推進について
- ・市立病院の運営について

『横森宏尹議員』

- ・企業誘致推進について

石井

錦一 議員
「新世クラブ」



(主な質問と答弁)

「中心商店街の復活」について

質問 市長は、中心商店街復活のためには、物を買いに来る客だけの商業施設の店舗展開だけでなく、物を見に来るとか散策するとか、そういった政策に転換する必要があるのではないか、どのような方策で中心商店街を復活させるのか、お伺いします。

答弁 横内市長

商工会を中心として実施しているTMO事業、空き店舗への新規業種の導入、賑わいある市民参加型のイベント開催、また新しい商品開発のノウハウ導入等により、時間をかけて官民一体となって、まちづくりの再生に取り組む必要があると考えております。

質問事項

中心商店街の復活について

片倉工業跡地について

農業振興について

公共下水道事業の見直しについて

バイオ燃料について

機構改革について

土木行政について

- ・ 県道武田八幡神社線の整備について
- ・ 主要地方道葦崎南アルプス中央線の安全対策について
- ・ 市単独公共事業について

教育問題について

- ・ 高校入試改革について
- ・ 全国学力テスト結果について

有害鳥獣対策について

旧税務署跡地の活用について



駅前商店街

「農業振興」について

質問 本年度、新規に農地利用集積推進事業に九十万円を計上し、遊休農地の優良農地への整備転換にかかる支援を

行うとしていますが、ほ場整備事業など基盤整備を実施して、農地の集積区画の整理を行えば、大規模農業が可能となって農業振興が図られると考えますが、見解をお伺いします。

答弁 横内市長

大規模農業への基盤整備については、後継者問題及び農家の個人負担が多く、ほ場整備事業についての課題が多いことから、

今後農業従事者とのコンセンサスを得ながら、合理的に効果的な方法を見出すべく検討を進めてまいります。

答弁 横内市長

今回の見直しにあたりましては、公共用水域の水質保全を図るため、未整備地区へ合併浄化槽の整備手法を取り入れ、経済的かつ効率的な計画を立案し、下水道事業の全体計画の推進を目指すものであります。

「公共下水道事業の見直し」について

質問 現行の計画面積に対する整備率は四十七%、地方債残高は、平成十八年度末で九十億円を超え、財政負担が大きな課題となり、整備計画の見直しが求められております。今後、効率的整備手法の選定にあたり、今年度中に見直すとのことですが、事業の見直しに対する基本的な考えをお伺いします。

(関連質問)

『一木長博議員』

- ・ 主要地方道葦崎南アルプス中央線の安全対策について

- ・ 市営林道の整備について
- ・ 片倉工業跡地について

『望月正澄議員』

- ・ 農業振興について

『嶋津健一議員』

- ・ 機構改革について
- ・ 土木行政について

嶋津

鈴子 議員
「市清クラブ」



(主な質問と答弁)

「国民健康保険税改定」について

質問 国保税の料金改定に至るまでには、相当な論議も財源対策も尽くされてのことであることは理解します。

国保運営協議会からも改定の答申が出されましたが、その内容と経過並びに改定内容等について伺いたいします。

答弁 横内市長

国保運営協議会の答申は、「七年間保険税の見直しは行われず、国保財政調整基金も枯渇するなど、健全な財政状況にはないため、本年度被保険者への負担の見直しは必要と考える。なお、見直しにあたっては、低所得者層に配慮し、十分意を尽くして、きめ細やかな適用を要望する。」

質問事項

- 副市長就任にあたっての基本姿勢について
- 国民健康保険税改定について
- 観光行政について
- 観光施策について
- 甘利山レンゲツツジについて
- 図書館建設について
- 市内中小企業救済施策について
- 市立病院産婦人科復活について
- 市公有地対策について
- 農業施策について
- 各地区からの要望事項の対応について

というものでした。

改正内容については、応益分の軽減割合を七割、五割とする一方で、二割軽減措置を設け、軽減の拡大を図りました。また、応能分の所得割合を七・七%、資産率を三十六%、応益分の均等割額を二万八千円、平等割額を二万六千円としたところであります。

「図書館建設」について

質問 図書館建設については、旧合同庁舎跡地を建設予定地として購入し、構想委員会の答申もなされていますが、一構想として、オギノの通称ルネスビルを、ビル組合の了承が得られるならば、図書館用地として借用したらどうでしょうか。児童生徒の利便性を考えても最適地であると考えます。新たな用地確保や建設

のための多額な予算確保も不要だと考えますが、見解を伺います。

答弁

古屋教育委員

第六次長期総合計画の策定に合わせ、改めてステージユールを見直し、ご提言の活用の方策も含め、関係する皆様から幅広いご意見を拝聴する中で十分に検討してまいります。

「市立病院産婦人科復活」について

質問 全国的に産婦人科医が減少している状況であります。妊婦が安心して近くで出産できるよう、市立病院への産婦人科復活を希望しますが、

お考えをお聞かせください。

答弁 横内市長

医師派遣については、山梨大学医学部附属病院に継続的に強く要望してまいりますので、当面は、県立中央病院の総合周産期母子医療センターに患者さんの受け入れをお願いしてまいります。



産婦人科復活が待たれる市立病院

「市公有地対策」について

質問 国庫補助金や地方交付税などが大幅に削減され、地方財政は厳しさを増しております。歳出カットや税収の確保を図るだけでなく、未利用土地を売却し、税外収入を含めた自主財源の確保を図ることが重要だと考えますが、ご所見をお聞かせください。

答弁 横内市長

利用可能な土地のほとんどは貸し付けを行っており、売却処分はありありません。貸付地以外も山林、原野、不整形地など商品価値のある土地は少なく、新たな処分は難しいと思われ

(関連質問)

「矢崎六彦議員」

・図書館建設について

・市内中小企業救済施策について

・市公有地対策について

神田 明弘 議員

「日本共産党 葦崎市議員」



(主な質問と答弁)

「国民健康保険税引き上げ問題」について

質問 市内の年金生活者を初め低所得者は、各種控除の廃止、縮小、定率減税廃止で大変な生活を強いられています。

質問事項

国保税の引き上げ問題について

- ・引き上げの中止を、そのために一般会計からの繰り入れを 葦崎市の活性化対策について 市社会福祉協議会の苦情解決委員会設置問題について
- ・いくつかの市民要求について
- ・市営バスの充実、改善について
- ・通学路の街灯設置について
- ・遠距離通学補助について
- ・市立病院の管理栄養士、看護師不足対策について
- ・上祖母石地区の仏坂の雨水対策について

こんなときに国保税を大幅に引き上げるといふのは、市民生活をさらに一層困難に追い込むこととなります。市長は公約で「晩年には安心・快適を」とうたっていますが、その言明に反するのではないのでしょうか、見解を求めます。

答弁 横内市長
その見識が問われますが、見解を求めます。

また、前市政は私どもが主張してきた一般会計からの繰り入れはしませんでしたが、国保税は値上げをしないで七年間据え置いてきました。新市政は、一般会計からの繰り入れはしない、引き上げは行う、市民の立場から見ればその評価は明白であります。今回の値上げを、前市政のツケによるものなどと考えているとしたら、それこ

たびの見直しにつきましては、こうした考えに立ち、低所得者層の方々に對しましては出来る限りの配慮をし、新たな軽減措置が可能となる応益割合率としたものであります。

「葦崎市の活性化」について 質問 今、全国では、活性化について新しい変化が起こっています。それは外部の力に依存し頼るのではなく、現にある農林業や中小企業などの地域経済、地場産業を振興し

再建する方向での活性化であります。市長は、葦崎市の持つ潜在能力はとても豊富として、歴史、文化、自然、スポーツなどを挙げています。この潜在能力について、具体的に説明していただきたい。特に、この中には農業や商業などがありませんが、これはどうしてなのか。私は、農業、商業、中小企業など、今、危機に直面している分野にこそ潜在能力を見出し、市民とともに力を合わせて、活性化を図ることが強く求められていると考えますが、見解を求めます。

答弁 横内市長
葦崎市の潜在能力についてであります。本市において行ってまいりました活性化対策は、これまで余り焦点が当たっていないかった歴史、文化、自然、スポーツの分野にスポットを当て、地域の資源を掘り起こし、活性化策の項目として取り上げたものであります。地域経済の活性化と振興については、商業、工業、農業等の事業者に対し、市民参加と協働による地域再生と活性化を図るため、商工会活動

を主体として官民一体となった活性化対策を推進していく考えであります。

「遠距離通学補助」について 質問 私は、昨年六月議会で、中学生の遠距離通学補助について市民から批判と苦情が出ていること、それは自分たちより学校に近い家庭に遠距離通学補助が出ているのに、遠い自分たちにはどうして出ないのかというもので、改善を求めたところであり、直ちに改善し、該当者には援助を行うべきであります。市は、見直す予定と回答しましたが、この見直しは、行革計画に基づいて縮小を検討することであり、これは私の質問と次元の違う問題であります。私は公平・公正な市政の方の問題として質問をしますが、見解を求めます。

答弁 輿水教育長
本年七月、議会、保護者、学校関係者等からなる制度見直し検討委員会を設け、支給対象距離等、生徒全般にわたり検討してまいる予定であります。



国保医療担当窓口

小林恵理子 議員
〔日本共産党・藤崎市議員団〕



（主な質問と答弁）

「子育て支援・市立保育園の充実」について

質問 市は、昨年二月に「藤崎市保育園統合構想検討委員会」を設置しました。

今後の藤崎市の保育園のあり方を決めるものですが、保育園の充実は、少子化対策、子育て支援の上でも大変重要だと考えます。公約で「子育て支援は、希望ある未来への重要な投資」と掲げている市長の見解を求めます。

答弁 横内市長

検討委員会は、子育て支援に関わる様々なニーズ、幼稚園との連携、民間活力の導入等を検討し、更なる保育サービスの充実を図るべく、望ましい統合構想計画についてご提言を頂くものであります。

質問事項

国民健康保険税引き上げ問題と市民生活について

子育て支援、市立保育園の充実について

介護保険、市独自の支援制度の充実について

指定管理者制度によるサービスセンターの運営について

東京エレクトロン工場移転問題について

市長も含む政治倫理条例の制定について

今後、市民のご意見を集約しながら、地域全体で子育て支援の環境づくりを推進していきたいと考えております。

（再質問）

市民サービス、更なる保育サービスの充実を図るといいう点については、検討委員会の中でしっかりと協議し、堅持していつて欲しいと考えます。

地域の保育園は地域との密接な関わりの中で運営されています。地域住民、利用者との合意が、統合の大前提になると考えますが、お考えをお聞かせください。

答弁 長坂福祉課長

今後、各保育園の保護者を中心とした懇話会も予定されていますので、地域住民の方の意見をお聞きし、検討してまいります。

「中田保育園西門側水路の溝ぶたの設置」について

質問 繰り返し保育園保護者や地域から、危険であるため溝ぶた設置の要望が出ております。直ちに設置すべきと考えますが、見解を求めます。

答弁 横内市長
利用者の安全確保を図る上から、地域の協力を得る中で、道路拡幅工事と合わせて検討してまいります。

「国民健康保険税引き上げ問題と市民生活」について

質問 国保税の引き上げについては、多くの意見・感想が市民から寄せられています。自営業の方は「年々営業収益が減る一方で、この先続け

られるのかもわからない状況。国保の値上げは死活問題。」
高齢者の方は「私たちは年金控除の廃止で、そうでなくとも急激に負担が増えている。こんな年寄りいじめはない。」
「定率減税の廃止で明らかに増税。国保とダブルパンチだ。」
「国保税を払えない人が増え、医療から遠のくのが心配。健康が守れない場合も出てくるのでは。」等々の声です。市長の目指す「健康で晩年を快適に過ごせるまちづくり」だれにも優しい社会の実現」などの言葉に逆行するものです。国保税引き上げの市民生活への影響について、市長はどのように考えているのか、見解を求めます。



中田保育園の危険な側溝

答弁 横内市長
国保費用の大部分を占める医療給付費が、高齢化が進行する中で増大し続ける現状では、加入者から相応の負担、公平の負担を頂くことは、公平性を堅持することから止むを得ないものと考えるところであります。

しかしながら、このたびの改定にあたっては、低所得者層の方々の加入割合が高いという構成比率も考慮する中で、それら対象者の方々に対しましては、費用負担の低減化を図るための軽減措置を行ったところでありませう。

「国民健康保険税引き上げ問題と市民生活」について
質問 国保税の引き上げについては、多くの意見・感想が市民から寄せられています。自営業の方は「年々営業収益が減る一方で、この先続けられるのかもわからない状況。国保の値上げは死活問題。」
高齢者の方は「私たちは年金控除の廃止で、そうでなくとも急激に負担が増えている。こんな年寄りいじめはない。」
「定率減税の廃止で明らかに増税。国保とダブルパンチだ。」
「国保税を払えない人が増え、医療から遠のくのが心配。健康が守れない場合も出てくるのでは。」等々の声です。市長の目指す「健康で晩年を快適に過ごせるまちづくり」だれにも優しい社会の実現」などの言葉に逆行するものです。国保税引き上げの市民生活への影響について、市長はどのように考えているのか、見解を求めます。

清水

一 議員
「四期クラブ」



質問事項

- 中心市街地活性化の施策と基本計画策定について
- ・計画策定の成否と政府認定の条件について
- ・商工会々員の減少状況について
- 駅前開発と今後の都市計画について
- ・カタクラ、キリンビール跡地の開発の現況と今後の見通しについて
- ・ダイワロイヤルの進める商業施設を中心とした開発計画の実現性について
- ・昭和町のイオン、甲斐市のアピタなど大規模商業施設の建設と我が市への影響について
- 「風林火山」放映に伴う観光客受け入れ体制と我が市の対応について
- ・「武田の里にらさき」我が市の歴史遺産について
- ・「白山城」及び「ムク台」へのアプローチ道などの整備について
- ・「武田八幡宮」及び「願成寺」の案内人の常駐について
- 企業誘致推進のための施策について
- ・企業誘致する場所など誘致環境の整備について
- ・穂坂町の市有地の土地利用について
- スポーツ施設の改善、整備について
- ・市営体育館の補修、修繕について
- ・御勅使サッカー場のトイレ整備について

(主な質問と答弁)

答弁 横内市長

「中心市街地活性化の施策と基本計画策定」について
質問 国においては、まちづくり三法を改正し、これまでの計画の見直しを行い、新たに基本計画を策定し、総理大臣の認定を受けたものについては、旧来の制度より大幅な助成をするという方針を打ち出しました。

市においても、新たな基本計画を策定して事業を行っていかののか、別の方法で活性化を図っていくのか伺います。
次に、このところ商工会員の減少が加速しております。市長はどのように捉えておられるのか、また市と商工会の関係についてもどのような認識をお持ちか伺います。

答弁 横内市長

新たに設けられた基本計画の内閣総理大臣認定要件については、市街地再開発や中心部居住人口の増加を目的とした共同住宅供給事業など多岐にわたり、既存の基本計画を進展させただけではその要件を満たすことができないものと判断しております。現状においては新しい基本計画の策定についての方策を持つてはおりませんが、人が集まり賑わいを創出するまちづくりの再生に向け、次期長期計画と整合した新たな再生計画の策定に官民一体となつて取り組んでまいりたいと考えております。

次に、商工会会員の減少については、後継者不足による商店の廃業など止むを得ない事情はありますが、脱会者が相次いでいることは、昨年度

まで会長を務めておりました私としても憂慮している次第であります。地域経済活性化の観点からも最も重要な団体です。今後とも商工会との連携を密にして、産官学の一体化した取組みを強化してまいります。

「駅前開発と今後の都市計画」について
質問 カタクラ・キリンビール跡地については、今年四月頃解体工事を行い、来年春のオープンを目指すと言われておりました。しかし、現在もその兆候は見られませんが、当初の計画が大幅に遅れている現状について、市はどのように受け止めているか、今後の見直しを含め見解を求めます。

また、ダイワロイヤルが商業施設を中心とした開発計画

を行っていますが、昭和町のイオン、甲斐市のアピタ等々と建設されようとしている現状については、本市への影響も少なからずあると考えます。果たして開発計画が現実のものになるのか、市当局はどのような認識をお持ちなのか、お考えをお伺いします。

答弁 横内市長
本市に対しての正式な土地利用協議には及んでいない状況にあり、現在まで跡地での解体工事に着手されていないのが現状であります。ダイワロイヤルの進める開発計画については、先般からの本市への説明、地元への事業説明会で行われた商業施設としての開発計画の内容、また地権者との間で定期借地権の締結についての基本合意がなされていること等から、都市計画

用途地域の変更がなされれば、実現性は大きいものと判断しております。

次に、イオン、アピタなどの建設による我が市への影響であります。開発事業者のダイワロイヤルによりますとテナントとして出店する業態等により、近隣で予定されている商業施設と差別化を図り、採算ベースにある集客計画がなされている旨の説明を受けております。



広大なカタクラ・キリンビール跡地

委員会・研修会レポート

会派研修

【市清クラブ】

(五味 篤、矢崎六彦、浅川 昇、嶋津鈴子)

平成19年7月2日～4日

福島県矢祭町

- ・図書館建設について
- ・財政状況について

栃木県日光市

- ・重点観光施策について
- ・議会運営について
- ・合併について

【新風クラブ】

(藤嶋英毅、斉藤 實、野口紘明、横森宏尹)

【葦崎NT21】(土屋泰一)

【四期クラブ】(清水 一)

平成19年7月9日～11日

京都府舞鶴市

- ・農業公園「舞鶴ふるるファーム」について

京都府京田辺市

- ・老人福祉センター、児童館複合施設について

【新世クラブ】

(一木長博、石井錦一、嶋津健一、望月正澄)

平成19年7月12日・13日

愛知県高浜市

- ・地域福祉全般について

常任委員会

《平成19年6月21日》

【総務教育常任委員会】

- ・閉会中の継続審査申出について

【市民生活常任委員会】

- ・請願の審査について
- ・閉会中の継続審査申出について

【産業建設常任委員会】

- ・閉会中の継続審査申出について
- ・甘利山レンゲツツジ開花状況現地視察

議会運営委員会研修

平成19年4月26日・27日

三重県鳥羽市議会

- ・議会運営について
- ・政治倫理規程について

合同研修(三常任委員会)

平成19年5月15日・16日

茨城県つくば市議会

- ・政治倫理条例について

茨城県下妻市議会

- ・国民健康保険運営状況について

夏季研修

平成19年7月18日

長野県諏訪市議会

- ・議員定数について

山梨県市議会議長会議員合同研修

平成19年8月10日

甲州市民文化会館

- ・自治体破綻の防止と地方議会の役割

編集後記

年 月の経つのは早いもので、一ヶ月後には、任期満了に伴う「葦崎市議会議員選挙」が行われ、新議員が選出されることとなります。

私たち編集委員は、今号でその任を終えるわけですが、「市議会だより」は、ホームページ等と同じく、議会の情報を市民の皆様にお知らせする、最良の方法だと考えております。

引き続き、ご愛読いただけますようお願い申し上げます。

市民の皆様におかれましては、「市議会だより」に対するご意見・ご要望等がございましたら、議会事務局までお寄せください。

市議会だより編集委員会

委員長

副委員長

委員

浅川 昇
斎藤 実
土屋 泰一
野口 紘明
嶋津 鈴子
清水 篤一
五味 篤

